

150 周年記念キャラクター「たちばにゃん」



橘小学校ホームページの QR コードです。

「輝け！橘っ子」通信

阿南市立橘小学校
学校だより No.37
令和7年2月21日
校長 上原 小代子

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

今週、とても嬉しいことがありました。一つは、2年生全員が学校長による「九九検定」に合格したことです。12月から検定を始めましたが、毎日入れ替わり立ち替わり2年生が校長室にやってきて、上がり九九・下がり九九・往復九九に挑戦してきました。全員、本当によくがんばりました。もう一つは、一人の1年生が校長室の窓をひょいと覗いて「ぼく九九が言えます。にんがし、にさんがろく・・・」と九九を唱えてくれたことです。九九を覚えるのが楽しくてたまらない様子がこちらにまで伝わってきました。それぞれもうすぐ一つ学年が上がりますが、この一生懸命さをずっと大切にしてほしいと思います。

人権落語講演会を実施しました！

2月18日(火)、徳島県出身の落語家、桂七福さんをお招きして、人権落語講演会を実施しました。七福さんは、阿南高専を卒業されていて、学生の頃は橘町内のセブンでアルバイトをされていたこともあるそうです。講演会では、ご自分が落語家になろうと決められた経緯や言葉は力をもっていること、同じ言葉でも言い方やタイミング・使われ方で受け手の捉え方が異なることなどを、わかりやすい例を挙げてお話しくださいました。特に、「言われて腹が立つことがあったら、『今の言葉で私は腹が立ちました』ときちんと伝えること」「相手にうまく伝わらないとき、意味がずれて伝わりそうになったときは訂正すること」が大事だと強調されていました。

講演後半は、落語の特徴や魅力について語っていただき、最後に有名な落語の「動物園」を話してくれました。虎の皮を被って虎のふりをする男の感情が手に取るように分かり、子どもたちからは笑いが絶えませんでした。生の落語を聞くのは初めての子どもたちがほとんどでしたが、すっかりその魅力にはまったようでした。落語では様々な人間が描かれ、様々なものの見方があることに気付くことができます。笑いを通して、普段の自分のものの見方は人を傷つけていないか、あらためて考える貴重な機会となりました。参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



ステージの上に高座を設えました。



うどんを食べる様子を披露する七福さん。



七福さんの落語に聞き入る低学年。



うどんを食べる真似をする高学年。

資源物資回収・奉仕作業お世話になりました

2月16日(日)、今年度3回目のPTA 資源物資回収と奉仕作業を実施しました。今回から回収開始時刻を8:30からに変更しましたが、早くから学校に直接物資を持ってきてくださる地域の方がおられたり地域役員さんが何度も地域を回って回収してくださったりして、たくさんのお物資が集まりました。心より感謝申し上げます。

資源物資回収終了後の奉仕作業では、第二運動場の木の枝の伐採、桜坂の植え込みやフェンスの間に伸びてきている蔓の除去をしていただきました。おかげで、第二運動場や桜坂がきれいになりました。いつもながら「橘小 PTA パワー」には感服いたします。このパワーに応えるべく、学校もがんばってまいります。ありがとうございました。



段ボールをパッカー車に積み込む。



アルミ缶をトラックに載せる。



植え込みの間の蔓を取り除く。



木々の枝を短く切って袋詰め。

全校かくれんぼをしました！

2月21日(金)、6年生の子どもの企画・運営による「全校かくれんぼ」を実施しました。6年生によるお楽しみ集会活動の第3弾です。豆まき集会・ドッジボール集会とともに、夏休み前から企画を考え、校長先生にプレゼン提案をし、たくさんのお褒めをもらい、それを克服し、再提案して実施にこぎつけた渾身の活動です。隠れてよい場所を限定し、先生方に安全への配慮をお願いするなど、万全の準備をして当日を迎えました。1~5年生が校内のどこかに隠れ、6年生が探し出すというルールですが、当日は混乱もなく、隠れる楽しさ・探し出す楽しさを全員が満喫していました。最後まで見つからなかった4年生の児童には大きな拍手が送られていました。



見つかった人は5・6年教室へ。



6年生に見つかってしまいました。



上手に隠れていましたね。



見つからないと思ったけれど・・・